

## 装備リスト

### ヤムナスカのツアーで訪れる主なエリアの気温

- ホワイトホース** 冬の平均気温はマイナス15度から30度程度です。  
**ドーソン** 冬の平均気温はマイナス20度から35度程度です。

以下のツアーでは、特に十分な防寒具がない場合、やむなくお断りさせていただくケースがございます。

- ドッグ・マッシング（犬ぞり）
- アイス・フィッシング
- スノー・モービル
- ネイチャー・ウォーク
- グレイシャー・フライト

出発地（日本など）からホワイトホースまでは、普段の冬の服装で問題ありません。機内が寒い場合がありますので、一枚羽織るものがあると快適でしょう。薄手の手袋や帽子などは手荷物でお持ちいただくとよいでしょう。

### 持ち物リスト

防寒 服装編		
✂	持ち物	備考
<b>必須品</b>		
	厳冬期用厚手のジャケット、 厳冬期用ダウンジャケット	綿入りで暖かく、表面が風を通さない素材
	スキーパーツ、オーバーパーツ	綿入りで暖かく、表面が風を通さない素材
	アウター手袋、ミトン	厚手の手袋、防風性や撥水性があるもの。 ミトンが保温性に優れる。
	ニット帽子（厚手）	耳まで隠れ、保温性に優れるもの。
	極寒地用ウィンターブーツ	ウィンターブーツ（マイナス20-30度仕様） 上記記載のツアーでは、マイナス40~70度以下用をご用意ください。
	厚手フリース、薄手ダウンジャケット、 厚手セーターなど	中間着として、ジャケットの下に着るもの、2枚程度違う種類を重ね着するのもお勧めです。

厚手シャツ、フリースジャケット	中間着の下に着る、または室内で利用
ズボン、パンツ	オーバーパンツの下に履くもの。
インナーウェア（インナー下着） 上下	長袖の下着、タイツのようなものが理想的です。乾きやすい綿ではない素材が好ましい。
ウール / 化繊の厚手の靴下	薄手二重履きもお勧め
薄手の手袋	インナー手袋として薄いものが理想的
ネックウォーマー / マフラー	首周りの保温はとても大切です。
<b>あると重宝するもの（必須ではない）</b>	
目だし帽	冷え込んだ場合役に立ちます。
ダウンパンツ	上記のズボン類以外にもあると重宝するでしょう。お持ちの場合ご持参されるといいかもしれません。

※中間着やインナー類は、乾きやすい化繊やウール混合などの機能素材がお勧めです。  
 ※室内では、日本の冬季の服装でいいでしょう。 **リストには普段着は記しておりません。**

#### ※ご自身で防寒着 を用意する場合

日中にほとんどの時間を野外で過ごすアクティブティでは、十分な防寒が必要になります。ご自身の防寒具でご参加される方は、事前にご相談ください。ジャケット、ズボン、ブーツなどは各メーカーのラインナップのもっとも防寒レベルの高いものでないと低温（20-30度）時には、防寒が難しくなります。

#### ※レンタル防寒具に関して

ご宿泊を伴わない【ドイツツアー】のみのご参加の場合、レンタル防寒具の貸し出しを行っておりません。お手数ですがご自身でご用意ください。

※犬ぞり、スノーモービル、では手袋・ジャケット・ズボン・ブーツなどお客様の装備が十分でない場合、無料の貸し出しがございませぬ。しかしご自身でできる限り上記の装備をご用意ください。